

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 1 回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開 催 日 時	令和元年 1 1 月 2 5 日 (月) 1 5 時 3 0 分～1 6 時 1 5 分
開 催 場 所	高松市防災合同庁舎 3 階 3 0 1 会議室
議 題	(1)瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の目標達成状況及び 取組事業の評価等について(平成 3 0 年度実施事業 及び 平成 2 8 年度からの評価推移) (2)瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の 新規・拡充等について(令和 2 年度以降実施分) (3)圏域愛称について (4)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	大西会長、小比賀副会長、八木委員、上村委員、橋本委員、 三枝委員、濱野委員、松本委員、谷委員、伊藤委員、 糸井委員、小林委員、井下委員、前田委員、河野委員
傍 聴 者	1 人 (定員 5 人)
報道機関	1 人
担当課及び 連絡先	政策課 (839-2135)

会議経過及び会議結果

会議の概要は、次のとおり

議題(1)瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の目標達成状況及び取組事業の評価等について(平成 3 0 年度実施事業 及び 平成 2 8 年度からの評価推移)

【別添資料 1、2、3 により、事務局から説明】

〔意見なし〕

議題(2)瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の新規・拡充等について(令和 2 年度以降実施分)

【別添資料 4 により、事務局から説明】

(委員)

今回のふるさと納税に係る共通返礼品を検討し、連携中枢都市圏として各市町で取扱うことで、連携中枢都市圏を P R する一助になると思っている。

(会長)

3 市 5 町が一体となって、取り組むことが重要であるということで、連携事業として提案されているものであり、各市町同士の共通返礼品設定とは別に、取り組んでいきたい。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の新規・拡充等について、事務局から説明したとおり、進めていくということによろしいか。

会議経過及び会議結果

〔異議なし〕

議題（３）圏域愛称について

【別添資料６により、事務局から説明するとともに、委員１６人による投票結果を集計】

（会長）

皆様から選定いただいたものを集計した結果である。

【集計結果】

５票 瀬戸・たかまつネットワーク
４票 せと八団（せとハチ）
３票 さぬきすと
２票 SANUKIぐるりと
１票 瀬戸・たかまつパートナーシップ
１票 きらり 瀬戸・たかまつ

（会長）

もっとも票数を獲得した「瀬戸・たかまつネットワーク」に決定してよろしいか。

〔異議なし〕

議題（４）その他

【事務局より、今年度のスケジュールについて説明（資料なし）】

〔質問等なし〕

（会長）

会全体を通じて、御意見あれば。

（委員）

今後、宇野・高松航路が休止されることについて、会長の考えを聞きたい。

（会長）

先般の宇野・高松航路の休止については、利用者の減少などにより、厳しい経営状況下で、事業者として、事業継続が困難ということである。

瀬戸大橋が通行できないような災害等や、特殊大型車両などの交通網等は、今後、航路休止による影響を最小限度に抑える必要があるが、直島を経由した高松・宇野間の航路や神戸への航路等があることから、一定代替輸送としては確保されているものであり、今回の事業者による重い判断はやむを得ないものと受け止めている。

その他、委員から特に意見はなく、会議を終了することとした。